

旭川工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語演習
科目基礎情報				
科目番号	0013	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	人文理数総合科 (人文系)	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	Vision Quest English Expression II Ace (啓林館) , 同Workbook (Ace)			
担当教員	本庄 忠大,水野 優子,森永 治之介			

到達目標

1. 日常のさまざまな場面や目的に応じて伝えたいことを英語で表現するのに必要な基礎的語彙や表現を理解して使うことができる。
2. 目的にあった辞書の使い方ができ、適切な語彙を選択して正しく使うことができる。
3. 自己表現のために必要となる文法や構文を理解して使うことができる。
4. 文法的なつながりと、意味のまとまりに注意して、与えられたテーマについて100語程度の文章を書くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目 1	日常のさまざまな場面や目的に応じて伝えたいことを英語で表現するのに必要な基礎的語彙や表現を習得し、使うことができる。	日常のさまざまな場面や目的に応じて伝えたいことを英語で表現するのに必要な基礎的語彙や表現を習得し、どうにか使うことができる。	日常のさまざまな場面や目的に応じて伝えたいことを英語で表現するのに必要な基礎的語彙や表現を習得し、使うことができない。
評価項目 2	目的にあった辞書の使い方ができ、適切な語彙を選択して正しく使うことができる。	目的にあった辞書の使い方ができ、意思伝達に最低限必要な語彙の選択をして使うことができる程度である。	目的にあった辞書の使い方ができず、意思伝達に必要な語彙を選択して使うことができない。
評価項目 3	相手に伝えようとする内容を表すために適した文法や構文を正しく選択して使うことができる。	相手に伝えようとする内容を表すために必要な文法や構文をある程度選択して使うことができる。	相手に伝えようとする内容を表すために必要な文法や構文を選択して使うことができない。
評価項目 4	文法的なつながりと、意味のまとまりに注意して、与えられたテーマについて、まとまりのある論理的な文章を書くことができる。	文法的なつながりと、意味のまとまりに注意して、与えられたテーマについて、ある程度まとまりのある論理的な文章を書くことができる。	文法的なつながりと、意味のまとまりに注意して、与えられたテーマについて、まとまりのある論理的な文章を書くことができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 人文理数総合科 (人文系) の教育目標 ① 学習・教育到達度目標 本科の教育目標 ①

教育方法等

概要	基本的な情報や自分の考えについて英語で表現する力を身につける。特に場面や目的に応じて、論理展開や表現方法を工夫しながら表現することを目指す。
授業の進め方・方法	英語によるコミュニケーション能力の向上を目指し、2年生までに学習した事柄を確認・発展させながら正確な表現を身につけられるよう学習する。そのために、正確な文法、語彙、語法、構文、幅広い表現力を身につける訓練をする。また、プレゼンテーション・スキルの習得に繋がる学習内容も取り入れる。計4回のパラグラフ・ライティングの課題に取り組む。特に文法的な文と文のつながり (結束性:cohesion) や、意味的な文と文のまとまり (首尾一貫性:coherence) のあるパラグラフを書けるようにする。
注意点	演習的な要素が強い学習となる。各課では"Build up"や"Expressions"で示された基本例文を参考にして、"Practice"を予めやってくる。また各 Lesson ごとに"Build up"や"Expressions"で示された例文についての小テストを適宜行う。また、11月に実施する技術英語能力検定の3級受験を推奨し、合格した際には評価に加算する。

授業の属性・履修上の区分

アクティブラーニング ICT 利用 遠隔授業対応 実務経験のある教員による授業

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期 1stQ	1週	オリエンテーション Lesson 1 [Part 2] 文と文をつなぐ	・ 学習の内容や進め方がわかる。 ・ 結束性(cohesion) と首尾一貫性(coherence) の概念を理解できる。また、どのようにしてそれを生み出すのかが理解できる。
	2週	Lesson 2 [Part 2] パラグラフ①-構成 / 列挙・順序	・ パラグラフの基本的な構成を理解できる。 ・ 列挙・順序の表現を理解することができる。
	3週	Lesson 1 [Part 1] お花見	・ 異なる主語を用いて同じ意味を表す文を作ることができる。 ・ 日本文から明示されていない主語を発見し、英語で表現できる。 ・ 時間・天候・距離などを表す it の特別用法について理解し、それを用いて英文を書くことができる。
	4週	Lesson 2 [Part 1] 漫画の楽しみ	・ 名詞句が主語になる文について、理解し、それを用いて英文を書くことができる。 ・ 形式主語構文について理解し、それを用いて英文を書くことができる。 ・ 無生物主語構文について理解し、それを用いた英文を書くことができる。
	5週	Lesson 3 [Part 1] 京都へ観光に	・ 自動詞と他動詞の違いを理解することができる。 ・ 群動詞を用いて英文を書くことができる。

2ndQ	6週	Lesson 3 [Part 2] パラグラフ②-例示・追加 Activity for Communication 4 Writing an Email (pp.56-57)	・例示・追加の表現について理解することができる。 ・英語のe-mailの書き方について理解することができる。 ・例示・追加の表現を用いながら、e-mail形式のパラグラフを書くことができる(課題①)		
	7週	Lesson 4 [Part 1] 私の家族です 次週、中間試験を実施する	・3文型および4文型の特徴を理解し、これらの文型を用いて英文を書くことができる。		
	8週	前期中間試験返却・解説 Lesson 5 [Part 1] 保育園での職業体験	・2文型および5文型の特徴について理解し、これらの文型を用いて英文を書くことができる。		
	9週	Lesson 5 [Part 1] 保育園での職業体験 Lesson 6 [Part 1] サプライズパーティー	・2文型および5文型の特徴について理解し、これらの文型を用いて英文を書くことができる。 ・使役動詞および知覚動詞について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。		
	10週	Lesson 6 [Part 1] サプライズパーティー Lesson 7 [Part 1] 映画のお誘い	・使役動詞・知覚動詞について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。 ・直接話法と間接話法の違いについて理解し、両方の話法を用いて英文を書くことができる。		
	11週	Lesson 7 [Part 1] 映画のお誘い Lesson 8 [Part 1] 航空管制官になる	・直接話法と間接話法の違いについて理解し、両方の話法を用いて英文を書くことができる。 ・現在形/現在進行形/will/現在完了/未来進行形/現在完了進行形について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。		
	12週	Lesson 8 [Part 1] 航空管制官になる Lesson 9 [Part 1] 趣味はピアノ	・現在形/現在進行形/will/現在完了/未来進行形/現在完了進行形について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。 ・現在形/過去形/現在完了/過去完了/過去進行形/過去完了進行形について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。		
	13週	Lesson 9 [Part 1] 趣味はピアノ	・現在形/過去形/現在完了/過去完了/過去進行形/過去完了進行形について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。		
	14週	Lesson 4 [Part 2] パラグラフ③-比較・対照	・Comparison/contrastのパラグラフでよく使われる語句を理解することができる。		
	15週	Lesson 4 [Part 2] パラグラフ③-比較・対照	・Comparison/contrastのパラグラフでよく使われる語句を理解することができる。 ・Comparison/contrastのパラグラフの構成の仕方を理解して、身の回りのものを比較・対照したパラグラフを書くことができる(課題②)		
	16週	期末試験			
	後期	3rdQ	1週	Lesson 10 [Part 1] タイタニックをみて	・受動態について理解し、それを用いて英文を書くことができる。 ・受動態を用いずに日本語で「れる」「られる」という意味になる英文を書くことができる。
			2週	LESSON 11 [Part 1] 世界遺産の魅力	・仮定法過去/過去完了について理解し、それらを用いて英文を書くことができる。
			3週	LESSON 12 [Part 1] ボランティア活動	・義務/必要/推量を表す助動詞について理解し、これらを用いて英文を書くことができる。
			4週	Grammar Focus 3 英語の情報構造	・英語では旧情報から新情報へという流れで文を書くという情報の流れについて理解することができる。 ・英語では「短い語句」から文を始め、「長い語句」は後ろに来るというルールを理解することができる。
			5週	Sentence Combining	・Sentence Combiningの手法を理解し、より長く複雑な文を書くことができる。
6週			Lesson 5 [Part 2] パラグラフ④-原因・理由・結果	・Cause and effectのパラグラフでよく使われる語句を理解することができる。 ・Cause and effectのパラグラフの構成の仕方を理解して、原因と結果の表現を用いながらパラグラフを書くことができる(課題③)	
7週			多様な語彙の使用(Lexical Cohesion) 次週、中間試験を実施する	Lexical Cohesionの概念を理解し、同意語/類義語、派生語、上位/下位語などを効果的に使い、同じ単語や表現を繰り返し用いずに書くことができる。	
8週			後期中間試験返却・解説 Lesson 13 [Part 1] 制服に賛成? 反対?	・数量を表す語句について理解し、それらを用いて英文を書くことができる。 ・形容詞/名詞/分詞を用いて名詞を前から修飾する用法について理解し、それらを英文を書く際に用いることができる。	
4thQ		9週	Lesson 13 [Part 1] 制服に賛成? 反対?	・形容詞/名詞/分詞を用いて名詞を前から修飾する用法について理解し、それらを英文を書く際に用いることができる。	
		10週	Lesson 14 [Part 1] コマの魅力	・形容詞句/前置詞句/不定詞/分詞を用いた後置修飾の用法について理解し、それらを英文を書く際に用いることができる。	
		11週	Lesson 15 [Part 1] 思い出の写真	・関係代名詞/関係副詞を理解し、それらを用いて英文を書くことができる。	

		12週	Lesson 15 [Part 1] 思い出の写真	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞/関係副詞を理解し、それらを用いて英文を書くことができる。 関係詞を用いて身近なものを定義することができる。
		13週	賛成・反対	<ul style="list-style-type: none"> 論証文でよく使われる語句を理解することができる。 論証文の構成の仕方を理解して、身の回りのことに対しての自分の意見を述べるパラグラフを書くことができる（課題④）
		14週	Peer Review（パラグラフの相互評価）	<ul style="list-style-type: none"> Peer Reviewのやり方を理解できる。 クラスメートが書いたパラグラフに対してよい点や改善点を指摘することができる。
		15週	パラグラフ・ライティング「課題④」	<ul style="list-style-type: none"> Peer Reviewでもらったコメントを反映させて書き直しを行なう。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2		
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3		
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	ワークブック・課題	積極性	合計
総合評価割合	60	15	20	5	100
基礎的能力	55	15	15	5	90
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	5	0	5	0	10